

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	島根県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	木次町立斐伊小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	11
児童数	14	26	18	24	22	24	1	129	

研究の概要

1. 研究主題

追究する喜びを味わい、共に学びあう子どもの育成

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年・算数を中心とした取り組み</p> <p>○問題意識をもち、その問題を創造的に解決していこうとすることは算数科の大きなねらいであり、そうした態度や能力を育てることは、「生きる力」を育てることにつながる。みんなでアイデアを出し合い、協力してよりよい解決を導き出していく態度や能力は、他人を思いやる心、他人と協調していく態度を育てることにつながり、「生きる力」の基になる。以上のような考えのもと、「生きる力」を育てることが「確かな学力」につながると考え、研究に取り組むことにした。</p>
--

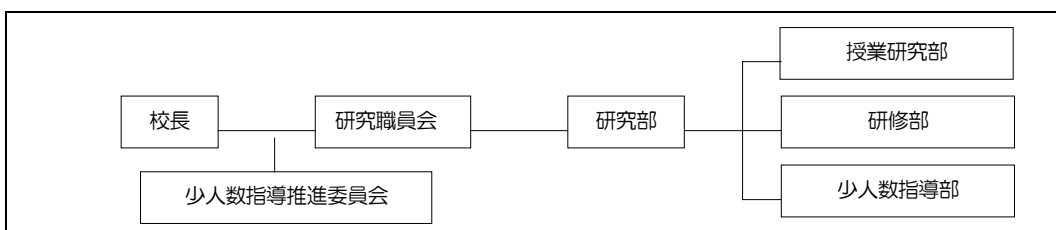
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ ～算数のよさに気づき、算数のよさを生かす子どもをめざして～</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>効果的な算数的活動、関連性・必然性を考えた単元構成をすれば、子どもは活動の楽しさを感じたり、算数のよさに気づいたりするようになるであろう。</p> <p>共に考える楽しさやよさを共有できる場・課題を設定すれば、子どもは追求する楽しさを感じたり、算数のよさに気づいたりするようになるであろう。</p> <p>学習を振り返ったり、次へ生かしたりする方法を工夫すれば、子どもは算数のよさに気づいたり、算数のよさを生活に生かしていくようになるであろう。</p> <p>算数の内容にかかわる全校での活動を行ったり、コース選択学習の場を設定したりすれば、子どもは算数のよさに気づきそれを生活の中で生かしていこうとするであろう。</p> <p>○ 研究の内容・方法</p> <p>ア. 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題意識・目的意識をもった効果的な算数的活動の導入 ・ 関連性・必然性を考えた単元構成の工夫 <p>イ. 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年へきめ細かなTT指導・少人数指導の導入（柔軟な指導体制） ・ 朝の時間を活用したステップ学習（朝のチャレンジ算数）の実施 ・ 単元担当表と単元ごとの指導形態（A～Dパターン）計画の作成 <p>ウ. 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価カードの活用 ・ チャレンジ算数ファイルの活用 <p>エ. その他の取組について</p>
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開日における少人数指導の実施 ・ 学習支援ボランティアグループによる朝の活動の支援 ・ 「学校だより」「斐伊小ニュース」「算数だより」による情報発信 ・ 特別活動「全校チャレンジ活動」による意欲付け
--	---

平成16年度	<p>テーマ～確かな学力をめざしての少人数指導のあり方～</p> <p>研究の見通し</p> <p>個に応じた効果的な少人数指導の場や課題を工夫すれば、一人一人により確かな学力が身につくであろう。（算数科を中心にして）</p> <p>○ 研究の内容・方法</p> <p>ア． 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な算数的活動の導入 ・ 子どもの興味・関心に基づいた課題の設定 ・ 個に応じた発展的な学習・補充的な学習の課題の工夫 <p>イ． 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年へきめ細かなＴＴ指導・少人数指導の導入 ・ 单元ごとの効果的な指導形態のあり方 ・ 少人数指導のよさを生かすためのグループ編成の工夫 <p>ウ． 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価カード・座席表評価簿の活用 ・ 評価の効果的な生かし方 ・ 確かな学力に向けて学習指導を振り返る教師の自己評価 <p>エ． その他の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「朝のチャレンジ算数」・「全校チャレンジ活動」の充実 ・ 「のびっ子ルーム」開設による補充的な学習の支援 ・ 「学校だより」「斐伊小ニュース」「算数だより」などによる情報発信
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 単元配当表・指導形態一覧表などを作成して、柔軟な指導体制で臨んだＴＴ・少人数指導により、子どもの活動欲求に応じた学習が展開でき、学習意欲の向上につながった。
- ・ 単元全体をストーリー化して学習を進めたり、目的意識をもった算数的活動を積極的に取り入れたりしたことによって、子ども達は活動を楽しみ、算数のよさを体感していった。
- ・ 单元ごとの振り返りカードや算数日記を活用したことで、子どもの意識や学習定着度を把握し、次の学習に生かすことができた。また、一人一人が学習の成果を振り返る場をもったことは子ども自身の意欲にもつながった。
- ・ みんなと一緒にやりたい、かかわりたいと感じる雰囲気、共に学ぶ楽しさを味わわせるのに、「全校チャレンジ算数」は、大きな効果があった。ダイナミックな算数的活動を展開したり、コース選択学習や習熟度別学習を取り入れたりすることもできた。

2. 今後の課題

- ・その子なりの表現方法を大切にしながら、自分の言葉で自分の考えを伝えることができるようにするための支援をどのようにすればよいか考えていく必要がある。
- ・どの単元で、どのような指導形態をとり、どのような具体的な支援をしていけば確かな学力が身につくのか明らかにしていく必要がある。（小規模校ならではの少人数指導）

学力等把握のための学校としての取組

教研式NRT 全国標準診断的学力検査（算数）
平成15年4月23日実施
本校児童の学力の実態を全国基準に照らした客観的な資料により確認、把握するため

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

第44回 島根県教育研究大会（大原大会）
第27回 大原郡教育研究大会
平成15年10月28日 第5学年 算数 授業公開及び研究分科会

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無